

意味のよくわからない語句・ことばの意味を調べよう

—調べた語句・ことばの意味は正確に身に付け、学力を大幅に向上させよう—

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。
2. いよいよ新学年が始まりました。皆さんのご希望は、希望校に合格するために学力を向上させるにはどうしたらよいかということだと思います。私は、学力向上のために必要不可欠なことは3つあると思います。
 - (1)1番大切なことは、自分は今どのような立場にいるのかを深く自覚することです。例えば、自分が今高校1年生であるならば高校1年生としての自覚を持って勉強する、中学校3年生は中学校3年生としての自覚を持って勉強する、大学院の1年生は修士課程1年生としての自覚を持って勉強する、このように自覚を持って勉強することが1番に大切です。
 - (2)第2は、自覚を深めた上で勉強の仕方を工夫することです。
 - (3)第3は、勉強の仕方を工夫しながら勉強時間をできるだけ長くすることです。つまり、自分は今どのような立場なのかを深く自覚し、勉強の仕方を工夫し、長時間勉強する、この3つが必要不可欠だと思います。
3. そのほかに必要なことは何かというと、基本的なことをお話させていただくと、ことばの力を身に付けてことばの力を伸ばすことだと思います。ことばの力は言語力といいますが、この言語力を伸ばすことが大事です。学力とは、日本人を含む人類が培った日本人として、また、人類として必要不可欠な学問、つまり知識のことです。それは文字やことばによって成り立っていますので、文字やことばがわからないと全く話になりません。ですから、ことばの力、言語の力、つまり言語力を身に付けてどんどん伸ばすことが求められるのです。
4. ことばは言霊(ことだま)ともいいまして、一つ一つのことばには意味があり、様々な心・精神がこめられています。そこで、一つ一つのことばに含まれている意味や心・精神をよく理解した上で心をこめて用いることが、生きていく上でも、また、勉強していく上でも大切だと思います。
5. では、ことばの力とはどのようなもののでしょうか。人間は、ことばによって自分自身の考えをまとめ上げ、それを相手に伝えることができます。ですから、ことばによって相手の考えを知り、それをよく理解して自分はどのようにしたらよいかを考えることもできるわけです。

6. このように、一つ一つのことばには日本人を含む人類が培った意味がありますので、その意味を自分自身でよく理解し納得した上で心をこめて用いると、相手も理解・納得しやすくなって、その結果自分の心と相手の心を通じると考えられます。それから、小学生・中学生・高校生・大学生・大学院生の皆さんが色々な学校や学習塾などで勉強している内容はすべて、ことば・言語によって学校や学習塾の教科書・テキストなどに書き表されています。そして、それらはことば・言語によって先生から小学生・中学生・高校生・大学生・大学院生の皆さんに伝えられます。つまり、勉強するとき用いられるものは一つ一つに意味のあることば、心のこもったことばであるのです。ことば・言語によって書き表され、表現され、先生からことば・言語によって皆さんに伝えられるわけですから、各科目の内容を書き表した一つ一つのことばの意味やそれにこめられる心・精神を共によく理解した上で身に付けることが、学力向上の上で最も大切だと思います。
7. 少し難しい話になりますが、具体的にどのようにしたらよいかお話しします。一つ一つの教科はことば・言語で教科書が書かれているわけですから、これはこのようなことかとよく理解し心から納得しながら勉強することが大事だと思います。ですから、教科書を使って勉強するときには、教科書をよく読んだ上で一つ一つのことば・言語の意味を理解し納得してもらいたいのです。
8. もし教科書に書いてあることば・言語の意味がわからないときにはどうすればよいか。答えは簡単です。国語辞典・英和辞典・漢和辞典など、辞書を引いて調べればよいのです。また、各科目には用語集というものがあります。各科目独自の用語集、その科目で用いられていることばが出ている用語集で調べてみると、各科目独自の語句、ことばの意味がわかります。それから、各科目の学年別の参考書を用いて調べてみると、そこには大体のことばの意味が書いてあります。つまり、国語辞典・英和辞典などの辞書や各科目の用語集、教科書に沿った学年別の各科目の参考書を、勉強する上での大切な道具として身近に置いて、使いこなすことが大事です。それらはできるだけ自分のお金で買いそろえるのがよいですが、お金が足りなければ古本屋さんで買ったり、知り合いの方や兄弟の方から譲ってもらったりして自分の手元に置いておくと便利です。また、学校の図書室や公立の図書館にも辞書や用語集、考書が置いてありますので、ルールを守りながらどんどん使いこなすことも大事です。大学の図書館もその大学で学ぶ大学生だけではなく、小学生・中学生・高校生・一般の市民の方も利用できるところが大半です。インターネットなどで利用の仕方を調べて、どんどん使いこなすとよいと思います。
9. 調べたあとはどうするか。せっかく調べたこともそのままにしておくと忘れてしまいますので、調べたことはノートに書き写すことが大事です。それから先はもっと大事で、書き写したノートは時々取り出して何回も何十回も何百回も読み直してスミからスミまで正確に覚えて下さい。そうすると、その科目の内容が本当によくわかるようになります。教科書に書いてあることや先生が授業でお話になることがよくわかるようになります。また、テストで問題として出されることもよくわかります。このような手順を経て、学力が身に付き成績が大幅に上がります。このように、学校の教科書に出てくることばを一つ一つ大切に大切に、その意味がわからなかったら辞書などで調べ、調べたものはノートに書き写して、繰り返し繰り返し読む、これが学力を向上させる一番早い方法です。これをちゃんとやりますと、学力は一気に上がります。是非お試し下さい。